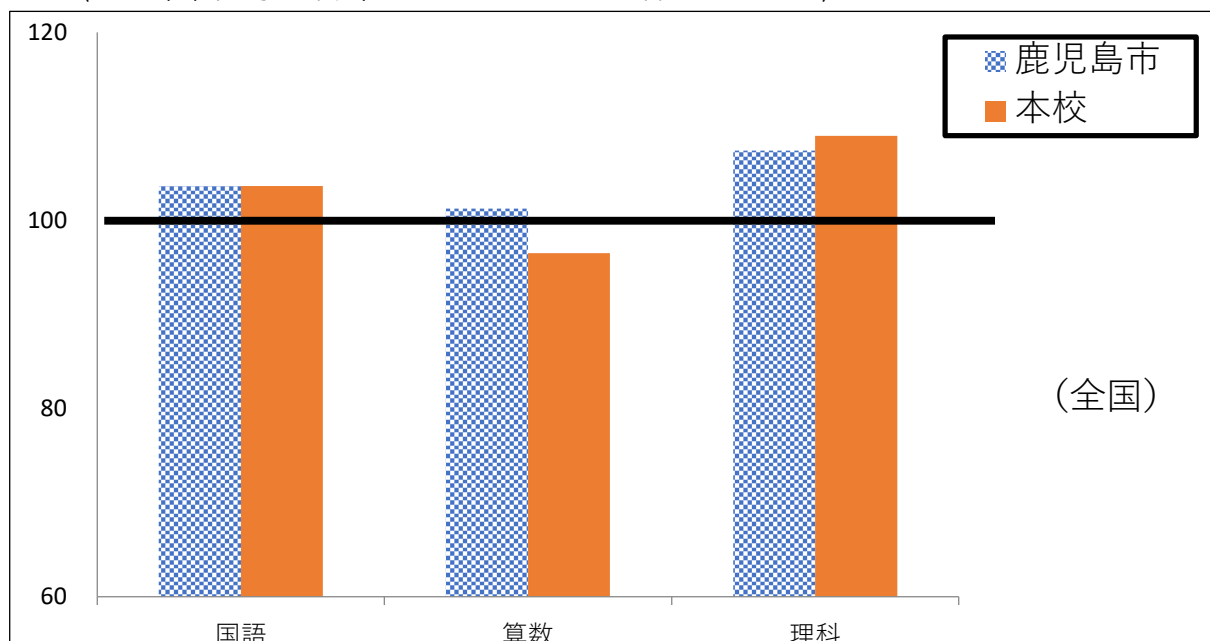


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

川上小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

言葉の特徴や使い方に関する事項に課題が見受けられました。「しかし」「要するに」「考える」「だろう」「～は～より」「～は～に比べて」などの思考にかかわる語句を、話や文章の中で使うことを通して、自分の語彙として身に付けていく必要があります。資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする活動や、調べたことやまとめたことについて討論などをする活動等に取り組んでまいります。

〈算数〉

図形の意味や性質をもとに、図形の構成の仕方を理解することに課題が見受けられました。図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質をもとに、作図の仕方を多様に考えることができるようにしたり、作図の手順からどのような図形ができるか判断したり、作図の仕方を筋道立てて説明したりする指導の工夫に取り組んでまいります。

〈理科〉

「問題」を解決するために、観察、実験などの過程や得られた「結果」を適切に記録することに課題が見受けられました。問題を解決するために必要な記録の内容を検討する場面や、問題を解決するための記録ができているかを確認する場面を設定し、指導の工夫に取り組んでいきます。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している児童が少ないことが分かりました。様々な表現の仕方を教えるとともに、グループ活動などで経験を積むようにしてまいります。また、本校児童は、生活習慣や学習習慣が身に付いており、学校のきまりや友達との約束を守りながら、落ち着いた生活をしていることが分かりました。今後は、良いところを認め励ますことで、さらに自己肯定感を高め、将来の夢や目標を持ち、失敗を恐れず挑戦できるようにしていきたいと思っておりますので、ご家庭でも言葉掛けをよろしくお願いします。